

子育て文化創造白書の刊行に当たって

近年、少子化の進行や核家族化など、子どもや家庭を取り巻く環境は、大きく変化してきており、こうした状況は、社会・経済の様々な局面に影響を与えていると言われています。



本県においても、少子化は依然として厳しい状況にある中であって、私は、県民誰もが「山口県に生まれ、育ち、住んでよかった」と実感でき、活力に満ちた「住み良き日本一の元気県づくり」を進めておりますが、子育て支援・少子化対策は、こうした県づくりを進めていく上で、極めて重要であると考えております。

このため、平成19年10月に制定した「子育て文化創造条例」に基づき、山口県らしい「子育て文化の創造」を目指して、家庭、学校、職場、地域など社会全体で子どもや子育て家庭を支える環境づくりを進めているところです。

さらに、本年3月、県政運営の新たな指針として「住み良き日本一の元気県づくり加速化プラン」を策定し、「子育て支援の充実強化」や「地域で進める子どもたちの育成」などを戦略プロジェクトに位置づけ、子育て支援・少子化対策に関する施策を重点的に推進しているところです。

この白書は、「子育て文化創造条例」に基づく年次報告であり、本県における子どもと家庭を取り巻く現状や平成20年度に県が取り組んだ施策、平成21年度に取り組もうとする施策などを取りまとめています。

本書を通じて、より多くの県民の皆様にも、本県の子育て支援・少子化対策について、理解と関心を深めていただき、安心して子どもを産み育てることができ、社会の実現に向けた取組の一助となれば幸いです。

平成21年10月

山口県知事

二井 関成